

3.アンケート調査報告

アンケートは、外観調査によって町家と判断した建物に可能なかぎり配布し、回答は「この建物にお住まいの方又はこの建物の事業主の方」にお願いしている。

(1)京町家まちづくりアンケート単純集計データ

■アンケート調査回答

・配布数		・回収数		・回収率	
西陣エリア	:9,061部	西陣エリア	:1,608部	西陣エリア	:17.7%
伏見エリア	:4,676部	伏見エリア	:595部	伏見エリア	:12.7%
合計	:13,737部	合計	:2,207部	合計	:16.1%

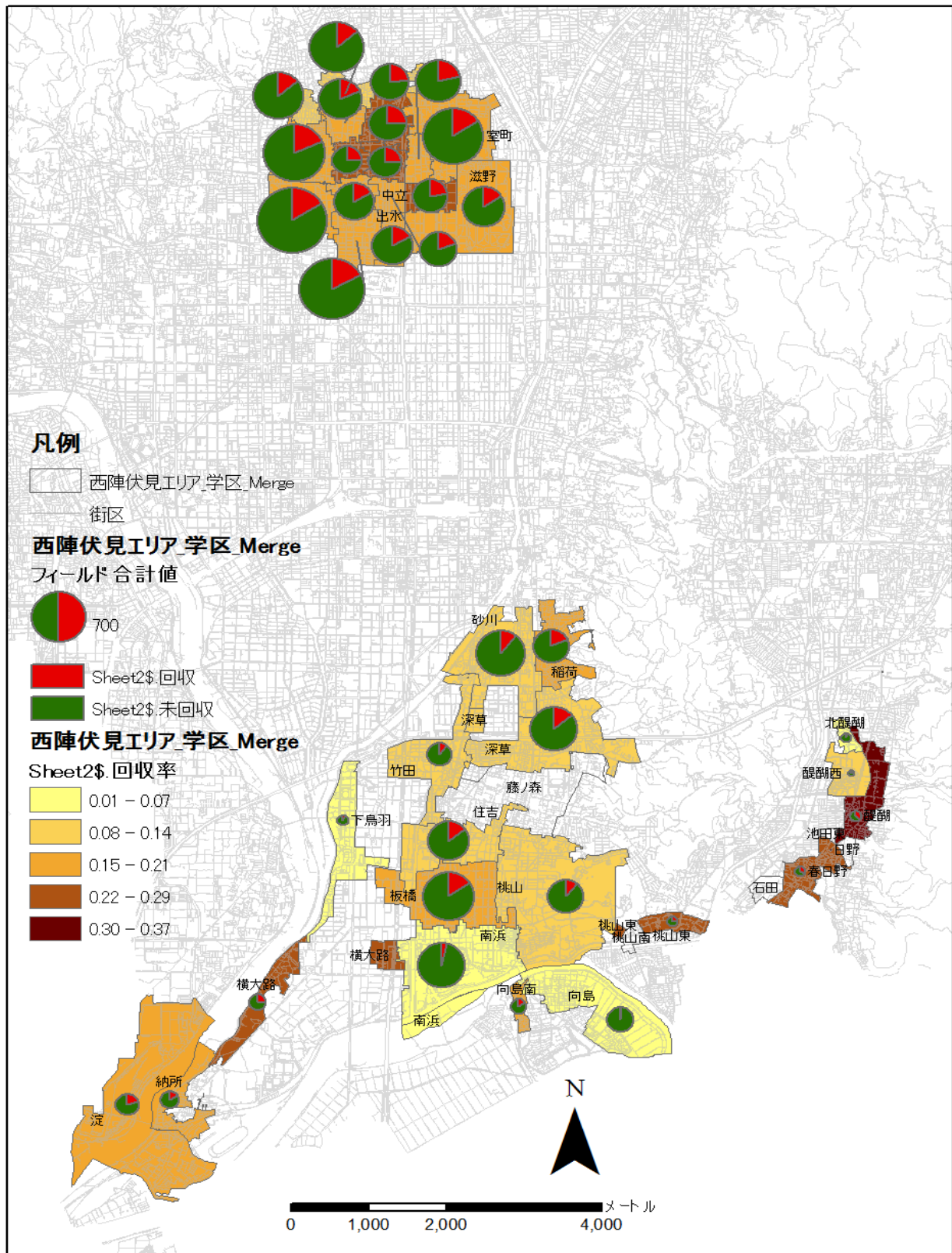
学区	配布数	回収数	回収率
嘉楽	212	51	24.1%
紫野	690	95	13.8%
室町	864	138	16.0%
出水	1,000	171	17.1%
小川	471	99	21.0%
仁和	1,170	186	15.9%
成逸	354	83	23.4%
正親	371	62	16.7%
西陣	333	80	24.0%
中立	294	66	22.4%
桃蔭	254	63	24.8%
柏野	576	78	13.5%
翔鷲	889	160	18.0%
聚楽	318	62	19.5%
乾隆	440	80	18.2%
滋野	419	66	15.8%
待賢	406	68	16.7%
西陣エリア計	9,061	1,608	17.7%

学区	配布数	回収数	回収率
稻荷	315	58	18.4%
横大路	67	18	26.9%
下鳥羽	28	2	7.1%
向島	166	2	1.2%
向島南	59	10	16.9%
砂川	581	63	10.8%
住吉	402	57	14.2%
春日野	24	7	29.2%
深草	533	73	13.7%
醍醐	30	11	36.7%
醍醐西	11	1	9.1%
竹田	142	16	11.3%
桃山	310	36	11.6%
桃山東	26	7	26.9%
藤森	582	76	13.1%
南浜	534	20	3.7%
納所	78	13	16.7%
板橋	642	99	15.4%
北醍醐	21	1	4.8%
淀	125	25	20.0%
伏見エリア計	4,676	595	12.7%
不明	—	4	—
合計	13,737	2,207	16.1%

アンケートを全体で13,737世帯に配布をし、回収率は16.1%であった。
西陣エリアでの回収率は17.7%、伏見エリアの回収率は12.7%と西陣エリアの方が回収率が高い。
なお、5年前調査(*)でのアンケート回収率は、29.6%であった。

(*)中京区及び下京区の一部(職住共存地区を含む18元学区:竹間、富有、城巽、龍池、初音、柳池、銅駝、本能、明倫、日彰、生祥、格致、成徳、豊園、開智、醒泉、修徳、有隣の各元学区)

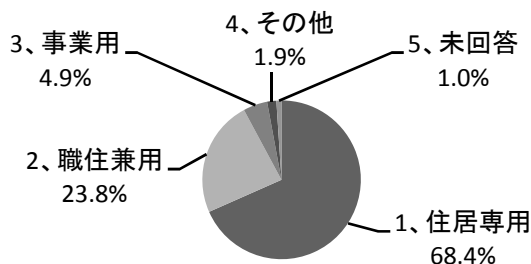
■ 学区別アンケート回収率地図分布



(注) 地図の色が濃いほどアンケート回収率が高く、円が大きいほど配布数が多い。

■ Q1建物利用方法

1、住居専用	1,509	68.4%
2、職住兼用	525	23.8%
3、事業用	108	4.9%
4、その他	42	1.9%
5、未回答	23	1.0%
計	2,207	100.0%



・西陣エリア

1、住居専用	1,040	64.7%
2、職住兼用	431	26.8%
3、事業用	89	5.5%
4、その他	33	2.1%
5、未回答	15	0.9%
計	1,608	100.0%

・伏見エリア

1、住居専用	467	78.5%
2、職住兼用	93	15.6%
3、事業用	19	3.2%
4、その他	8	1.3%
5、未回答	8	1.3%
計	595	100.0%

(参考:5年前調査(調査エリアはP3-1参照))

1、住まいのみ	843	47.5%
2、住まい+事業所	707	39.8%
3、事業所	224	12.6%
4、不明	1	0.1%

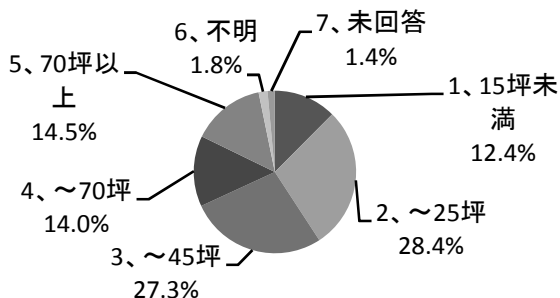
町家の建物利用方法としては、「住居専用」が68.4%と最も多い。

エリア別にみると、「住居専用」では、西陣エリアが64.7%、伏見エリアが78.5%と、約15%伏見エリアの方が高い。また、「職住兼用」では、西陣エリアが26.8%、伏見エリアが15.6%と、約10%西陣エリアの方が高い。

また、調査エリアが異なるため単純比較はできないが、5年前調査では、「住まいのみ」が47.5%、「住まい+事業所」が39.8%であった。

■ Q2敷地面積

1、15坪未満	274	12.4%
2、～25坪	627	28.4%
3、～45坪	603	27.3%
4、～70坪	310	14.0%
5、70坪以上	321	14.5%
6、不明	40	1.8%
7、未回答	32	1.4%
計	2,207	100.0%



・西陣エリア

1、15坪未満	217	13.5%
2、～25坪	494	30.7%
3、～45坪	448	27.9%
4、～70坪	217	13.5%
5、70坪以上	188	11.7%
6、不明	27	1.7%
7、未回答	17	1.1%
計	1,608	100.0%

・伏見エリア

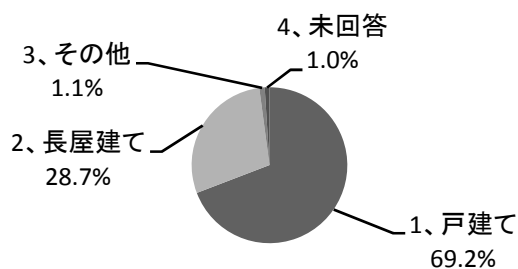
1、15坪未満	57	9.6%
2、～25坪	133	22.4%
3、～45坪	154	25.9%
4、～70坪	92	15.5%
5、70坪以上	131	22.0%
6、不明	13	2.2%
7、未回答	15	2.5%
計	595	100.0%

敷地面積は「15坪～45坪」が55.7%で最も高い。

エリア別にみると「15～25坪」では、西陣エリア30.7%に対し、伏見エリア22.4%と約8%の差がある。しかし、「70坪以上」では、西陣エリアが11.7%に対し、伏見エリアが22.0%と約10%の差があり、伏見エリアには、比較的敷地面積の大きな町家が多く存在するといえる。

■ Q3建物形態

1、戸建て	1,527	69.2%
2、長屋建て	634	28.7%
3、その他	24	1.1%
4、未回答	22	1.0%
計	2,207	100.0%



・西陣エリア

1、戸建て	1,084	67.4%
2、長屋建て	491	30.5%
3、その他	18	1.1%
4、未回答	15	0.9%
計	1,608	100.0%

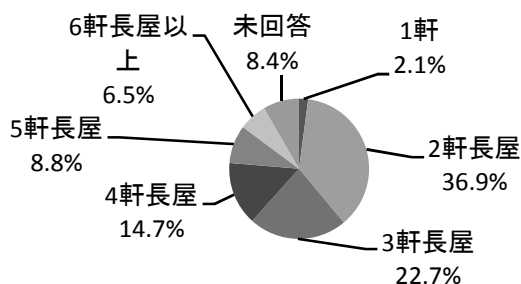
・伏見エリア

1、戸建て	439	73.8%
2、長屋建て	143	24.0%
3、その他	6	1.0%
4、未回答	7	1.2%
計	595	100.0%

外観調査結果(長屋32.7%)と比較してもほぼ同程度の割合である。

■ 長屋の構成【Q3で「長屋建て」を回答された方対象】

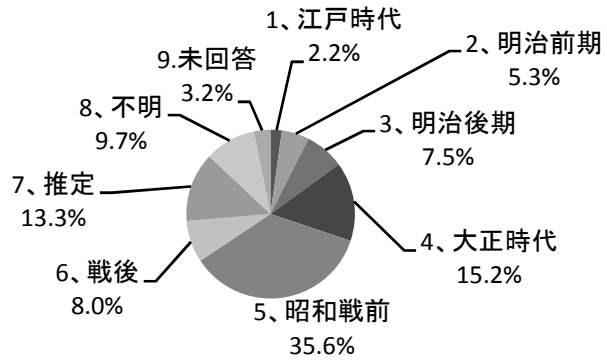
1軒	13	2.1%
2軒長屋	234	36.9%
3軒長屋	144	22.7%
4軒長屋	93	14.7%
5軒長屋	56	8.8%
6軒長屋以上	41	6.5%
未回答	53	8.4%
計	634	100.0%



2軒長屋が36.9%と最も多い。
また、「1軒」という回答については、例えば、2軒長屋のうち1軒が除却されたなどの理由が推測される。

■Q4建築時期

1、江戸時代	48	2.2%
2、明治前期	116	5.3%
3、明治後期	166	7.5%
4、大正時代	335	15.2%
5、昭和戦前	785	35.6%
6、戦後	177	8.0%
7、推定	294	13.3%
8、不明	215	9.7%
9、未回答	71	3.2%
計	2,207	100.0%



・西陣エリア

1、江戸時代	35	2.2%
2、明治前期	85	5.3%
3、明治後期	129	8.0%
4、大正時代	243	15.1%
5、昭和戦前	538	33.5%
6、戦後	113	7.0%
7、推定	228	14.2%
8、不明	181	11.3%
9、未回答	56	3.5%
計	1,608	100.0%

・伏見エリア

1、江戸時代	13	2.2%
2、明治前期	31	5.2%
3、明治後期	36	6.1%
4、大正時代	91	15.3%
5、昭和戦前	246	41.3%
6、戦後	64	10.8%
7、推定	66	11.1%
8、不明	33	5.5%
9、未回答	15	2.5%
計	595	100.0%

「昭和戦前」に建てられた町家が35.6%と最も多く、西陣エリアでは33.5%、伏見エリアでは41.3%と伏見エリアの方が約8%高い。西陣エリアでは「推定」と「不明」の件数が多いものの、伏見には比較的年代の新しい町家が存在していると考えられる。

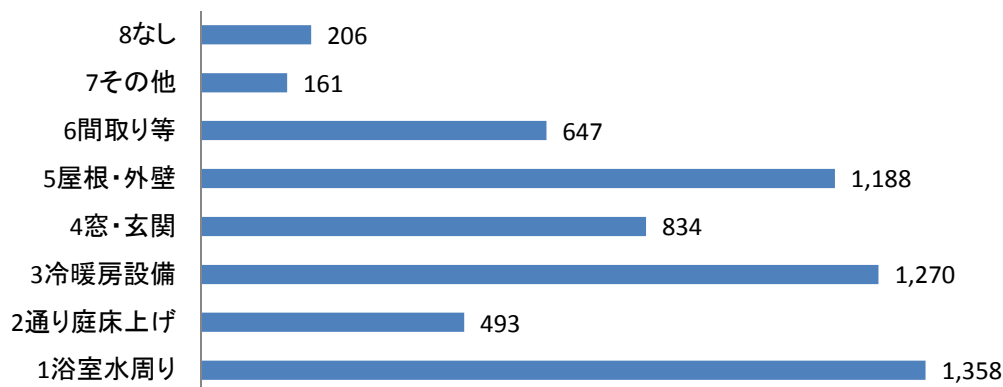
■Q5工夫・改修(複数回答)

1、浴室水周り	1,358	61.5%
2、通り庭床上げ	493	22.3%
3、冷暖房設備	1,270	57.5%
4、窓・玄関	834	37.8%
5、屋根・外壁	1,188	53.8%
6、間取り等	647	29.3%
7、その他	161	7.3%
8、なし	206	9.3%

最近10年間で行った工夫や改修は、「浴室水周り」が61.5%と最も多く、次いで「冷暖房設備」57.5%。生活に密着した部分の改修が多くみられる。

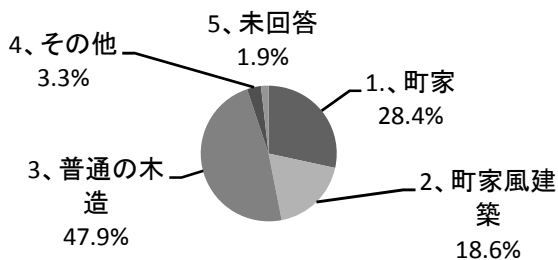
また、「屋根・外壁」も53.8%と多くの方が改修されている。

*アンケート回収数(2,207)からみた割合



■ Q6建物の認識

1、町家	626	28.4%
2、町家風建築	410	18.6%
3、普通の木造	1,057	47.9%
4、その他	73	3.3%
5、未回答	41	1.9%
計	2,207	100.0%



・西陣エリア

1、町家	526	32.7%
2、町家風建築	303	18.8%
3、普通の木造	711	44.2%
4、その他	40	2.5%
5、未回答	28	1.7%
計	1,608	100.0%

・伏見エリア

1、町家	98	16.5%
2、町家風建築	107	18.0%
3、普通の木造	345	58.0%
4、その他	32	5.4%
5、未回答	13	2.2%
計	595	100.0%

(参考:平成7~10年調査結果)

*調査範囲は上・中・下・東山の明治後期に市街化していた区域)

1、伝統的な町家	442	9.9%
2、町家風建物	1,018	22.7%
3、木造建築	2,663	59.4%
4、その他	213	4.8%
5、未記入	148	3.3%
計	4,484	100.0%

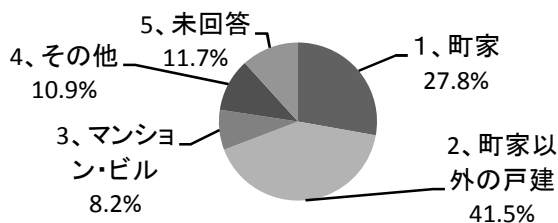
今利用されている町家について、「普通の木造」と認識している方が最も多く47.9%、次いで、「町家」が28.4%であった。

エリア別では、「町家」が、西陣エリアで32.7%、伏見エリアで16.5%、「木造」が、西陣エリアで44.2%、伏見エリアで58.0%と、町家の認識は西陣エリアの方が高いことがわかる。

参考に、10年前の調査では、「伝統的な町家」が9.9%、「木造建築」が59.4%であった。調査エリアや質問の文言が異なるため、単純に比較はできないが、町家認識は高まっていると推測される。

■ Q7今後の希望

1、町家	613	27.8%
2、町家以外の戸建	915	41.5%
3、マンション・ビル	180	8.2%
4、その他	241	10.9%
5、未回答	258	11.7%
計	2,207	100.0%



・西陣エリア

1、町家	470	29.2%
2、町家以外の戸建	659	41.0%
3、マンション・ビル	120	7.5%
4、その他	176	10.9%
5、未回答	183	11.4%
計	1,608	100.0%

・伏見エリア

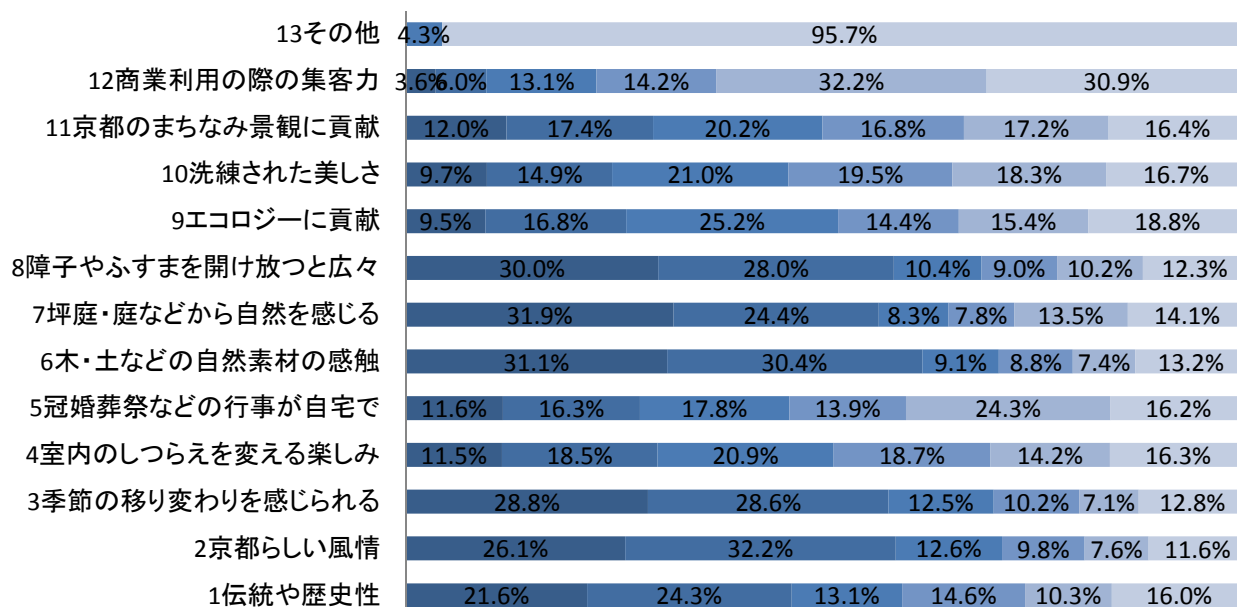
1、町家	141	23.7%
2、町家以外の戸建	255	42.9%
3、マンション・ビル	59	9.9%
4、その他	65	10.9%
5、未回答	75	12.6%
計	595	100.0%

今後住み替えや事業所移転をするときの建物希望は、「町家以外の戸建」が46.9%と、今後町家以外を望む方が高い。

■ Q8建物の魅力

	大いに感じる	やや感じる	どちらとも	あまり感じず	感じない	未回答	計
1伝統や歴史性	476 21.6%	537 24.3%	290 13.1%	323 14.6%	227 10.3%	354 16.0%	2,207 100.0%
2京都らしい風情	576 26.1%	710 32.2%	279 12.6%	217 9.8%	168 7.6%	257 11.6%	2,207 100.0%
3季節の移り変わりを感じられる	636 28.8%	631 28.6%	276 12.5%	225 10.2%	156 7.1%	283 12.8%	2,207 100.0%
4室内のしつらえを変える楽しみ	253 11.5%	408 18.5%	462 20.9%	412 18.7%	313 14.2%	359 16.3%	2,207 100.0%
5冠婚葬祭などの行事が自宅で	255 11.6%	360 16.3%	392 17.8%	306 13.9%	537 24.3%	357 16.2%	2,207 100.0%
6木・土などの自然素材の感触	686 31.1%	670 30.4%	201 9.1%	194 8.8%	164 7.4%	292 13.2%	2,207 100.0%
7坪庭・庭などから自然を感じる	703 31.9%	539 24.4%	183 8.3%	172 7.8%	298 13.5%	312 14.1%	2,207 100.0%
8障子やふすまを開け放つと広々	663 30.0%	618 28.0%	230 10.4%	199 9.0%	225 10.2%	272 12.3%	2,207 100.0%
9エコロジーに貢献	209 9.5%	370 16.8%	556 25.2%	317 14.4%	340 15.4%	415 18.8%	2,207 100.0%
10洗練された美しさ	213 9.7%	329 14.9%	463 21.0%	430 19.5%	403 18.3%	369 16.7%	2,207 100.0%
11京都のまちなみ景観に貢献	265 12.0%	384 17.4%	445 20.2%	371 16.8%	380 17.2%	362 16.4%	2,207 100.0%
12商業利用の際の集客力	79 3.6%	133 6.0%	289 13.1%	314 14.2%	710 32.2%	682 30.9%	2,207 100.0%
13その他			96 4.3%			2,111 95.7%	2,207 100.0%

■ 大いに感じる ■ やや感じる ■ どちらとも ■ あまり感じず ■ 感じない ■ 未回答



京都らしい風情や季節感、自然を感じる、障子やふすま、といった町家の雰囲気やしつらえに魅力を感じている方が多い。

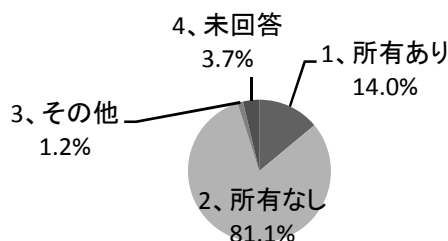
■ Q9-1&Q9-2敷地建物所有形態

敷地所有形態	建物所有形態					計
	自己所有	家族所有	借家	その他	未回答	
自己所有	1,290 58.5%	11 0.5%	3 0.1%	2 0.1%	6 0.3%	1,312 59.4%
家族所有	20 0.9%	164 7.4%	2 0.1%	0 0.0%	1 0.0%	187 8.5%
借地	85 3.9%	6 0.3%	497 22.5%	3 0.1%	1 0.0%	592 26.8%
その他	6 0.3%	1 0.0%	3 0.1%	74 3.4%	1 0.0%	85 3.9%
未回答	1 0.0%	2 0.1%	5 0.2%	0 0.0%	23 1.0%	31 1.4%
計	1,402 63.5%	184 8.3%	510 23.1%	79 3.6%	32 1.4%	2,207 100.0%

建物、敷地とも自己所有の方が58.5%と最も多く、次いで、建物、敷地とも借りている方が22.5%であった。

■ Q10他に町家を所有しているか

1、所有あり	308	14.0%
2、所有なし	1,790	81.1%
3、その他	27	1.2%
4、未回答	82	3.7%
計	2,207	100.0%



・西陣エリア

1、所有あり	237	14.7%
2、所有なし	1,299	80.8%
3、その他	17	1.1%
4、未回答	55	3.4%
計	1,608	100.0%

・伏見エリア

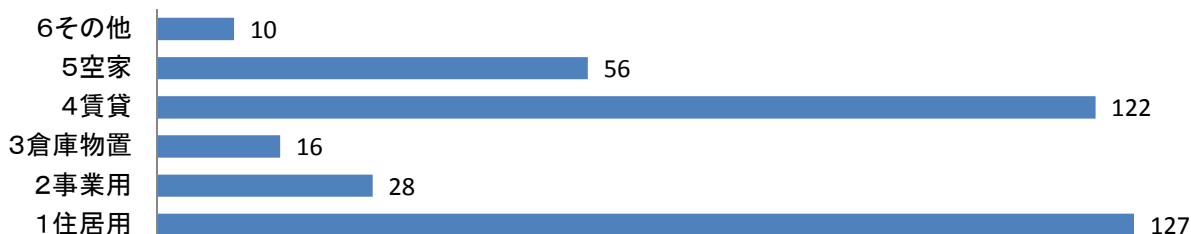
1、所有あり	71	11.9%
2、所有なし	487	81.8%
3、その他	10	1.7%
4、未回答	27	4.5%
計	595	100.0%

他にも町家を所有している方が14.0%であり、西陣エリアの方が伏見エリアより若干多くみられる。

■ Q10-A所有町家の活用状況(複数回答)【Q10で「所有あり」を回答した方対象】

1、住居用	127	41.2%
2、事業用	28	9.1%
3、倉庫物置	16	5.2%
4、賃貸	122	39.6%
5、空家	56	18.2%
6、その他	10	3.2%

* Q10で1を回答した方(308)からみた割合



・西陣エリア

1、住居用	100	42.2%
2、事業用	22	9.3%
3、倉庫物置	14	5.9%
4、賃貸	89	37.6%
5、空家	46	19.4%
6、その他	9	3.8%

* 西陣エリアでQ10で1を回答した方(237)からみた割合

・伏見エリア

1、住居用	27	38.0%
2、事業用	6	8.5%
3、倉庫物置	2	2.8%
4、賃貸	33	46.5%
5、空家	10	14.1%
6、その他	1	1.4%

* 伏見エリアでQ10で1を回答した方(71)からみた割合

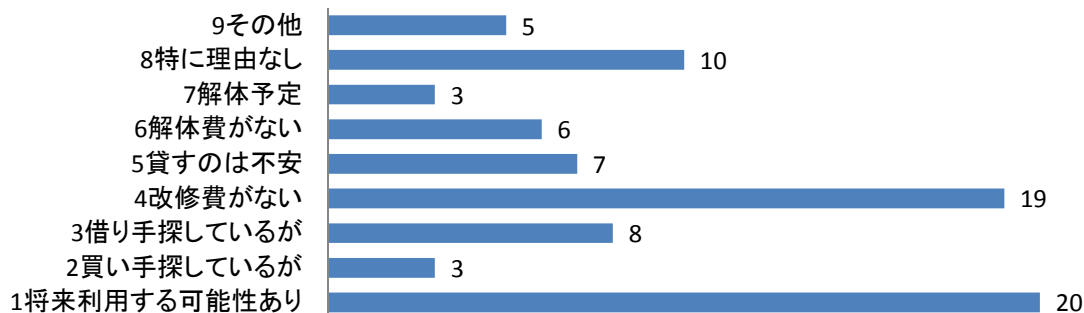
他に所有している町家のうち「住居用」が41.2%と最も多く、次いで「賃貸」が18.2%である。

■ Q10-B空家の理由(複数回答)【Q10-Aで「空家」を回答した方対象】

1、将来利用あり	20	35.7%
2、買い手探している	3	5.4%
3、借りて探している	8	14.3%
4、改修費がない	19	33.9%
5、貸すのが不安	7	12.5%
6、解体費がない	6	10.7%
7、解体予定	3	5.4%
8、特に理由なし	10	17.9%
9、その他	5	8.9%

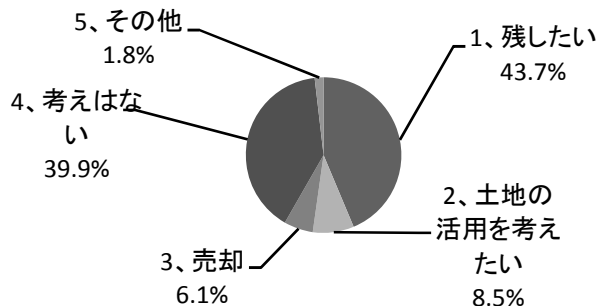
Q10-Aで空家を所有していると回答した方を対象に、空家の理由を質問した結果、「将来利用する可能性がある」が35.7%と最も多い。次いで「改修費がない」が33.9%であり、費用が負担で空家のままで残っている町家が比較的多く存在することが推測される。

* Q10-Aで5を回答した方(56)からみた割合



■ Q11所有町家の将来について【町家を所有されている方対象】

1、残したい	599	43.7%
2、土地活用考えたい	117	8.5%
3、売却	83	6.1%
4、考えはない	547	39.9%
5、その他	25	1.8%
計	1,371	100.0%



*うち1件は学区不明

・ 西陣エリア

1、残したい	437	44.0%
2、土地活用考えたい	73	7.4%
3、売却	57	5.7%
4、考えはない	406	40.9%
5、その他	20	2.0%
計	993	100.0%

・ 伏見エリア

1、残したい	161	42.7%
2、土地活用考えたい	44	11.7%
3、売却	26	6.9%
4、考えはない	141	37.4%
5、その他	5	1.3%
計	377	100.0%

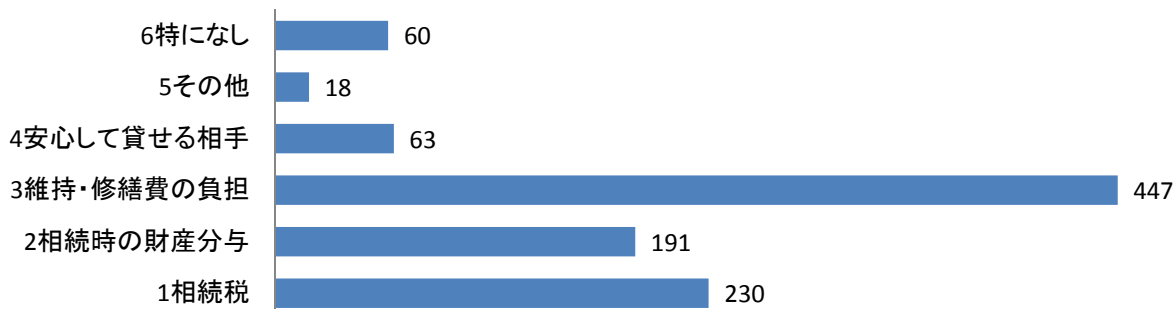
「町家を残したい」が43.7%と最も多いが、一方で、「考えはない」が39.9%みられる。「考えがない」と回答した層を、今後どのようにして「残したい」という方向へ意識を変化させるかが、重要な課題である。

■ Q11-A残していく上での問題点(複数回答)【Q11で「残したい」を回答した方対象】

1、相続税	250	41.7%
2、財産分与	224	37.4%
3、維持修繕費	528	88.1%
4、安心して貸せる相手	74	12.4%
5、考えはない	24	4.0%
6、その他	91	15.2%

残していく上での問題点では、「維持・修繕費用」が88.1%と、ほとんどの方が問題と感じている。また、「相続税」が41.7%、「財産分与」が37.4%と多く、これらの問題解決が町家を残していくための重要なカギであると考えられる。

* Q11で1を回答した人(599)からみた割合



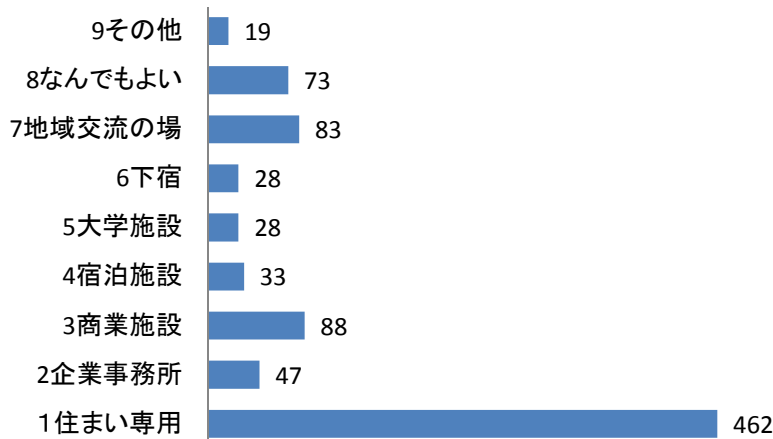
■ Q11-B所有町家を残していくための賃貸利用方法(複数回答)

【Q11で「残したい」を回答した方対象】

1、住居専用	462	77.1%
2、企業事務所	47	7.8%
3、商業施設	88	14.7%
4、宿泊施設	33	5.5%
5、大学施設	28	4.7%
6、下宿	28	4.7%
7、地域交流の場	83	13.9%
8、安心できたらなんでも	73	12.2%
9、その他	19	3.2%

* Q11で1を回答した人(599)からみた割合

残していくための賃貸利用方法では、「住居専用」が77.1%と最も多い。また、「地域交流の場」も13.9%であり、町家を地域の交流拠点として考えている方もいることがわかる。



■ Q11-C理想の賃貸期間【Q11で「残したい」を回答した方対象】

1、1年以内	9	1.5%
2、2～3年	90	15.0%
3、4～5年	80	13.4%
4、6～10年	49	8.2%
5、11～15年	17	2.8%
6、16～20年	6	1.0%
7、21年以上	11	1.8%
8、その他	25	4.2%
9、わからない	178	29.7%
10、未回答	134	22.4%
計	599	100.0%

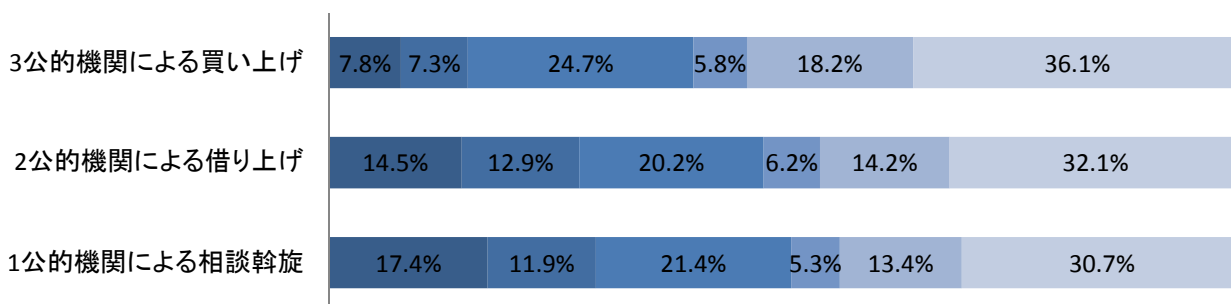
約30%

理想の賃貸期間は5年以内と考えている方が約30%である。比較的短期での賃貸が理想と考える傾向があるが、「わからない」という回答が29.7%で最も多い。

■ Q11-D利用したい取組【Q11で「残したい」を回答した方対象】

	利用したい	やや利用したい	どちらとも	ややしたくない	利用したくない	未回答	計
1.公的機関による相談斡旋	104 17.4%	71 11.9%	128 21.4%	32 5.3%	80 13.4%	184 30.7%	599 100.0%
2.公的機関による借り上げ	87 14.5%	77 12.9%	121 20.2%	37 6.2%	85 14.2%	192 32.1%	599 100.0%
3.公的機関による買い上げ	47 7.8%	44 7.3%	148 24.7%	35 5.8%	109 18.2%	216 36.1%	599 100.0%
4.その他	26 4.3%					573 95.7%	566 100.0%

■ 利用したい ■ やや利用したい ■ どちらとも ■ ややしたくない ■ 利用したくない ■ 未回答



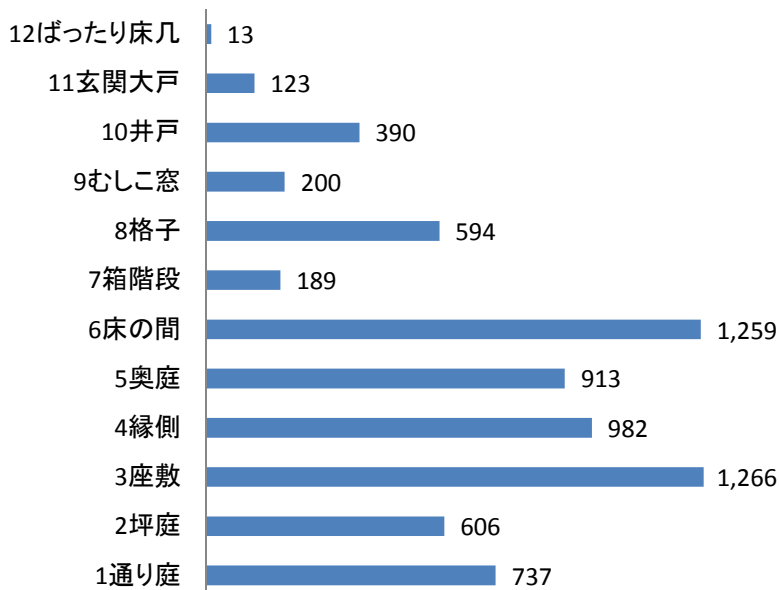
町家の保全・活用において公的機関利用の意向としては、「どちらでもよい」が最も多いが、「利用したい」という意向も相当数みられる。

■ Q12ご自身の町家にあるもの(複数回答)

1、通り庭(土間・吹抜)	737	33.4%
2、坪庭	606	27.5%
3、座敷	1,266	57.4%
4、縁側	982	44.5%
5、奥庭	913	41.4%
6、床の間	1,259	57.0%
7、箱階段	189	8.6%
8、格子	594	26.9%
9、むしこ窓	200	9.1%
10、井戸	390	17.7%
11、玄関大戸(くぐり戸)	123	5.6%
12、ぱったり床机	13	0.6%

*回答数(2,207)からみた割合

「座敷」、「床の間」の順に多い。

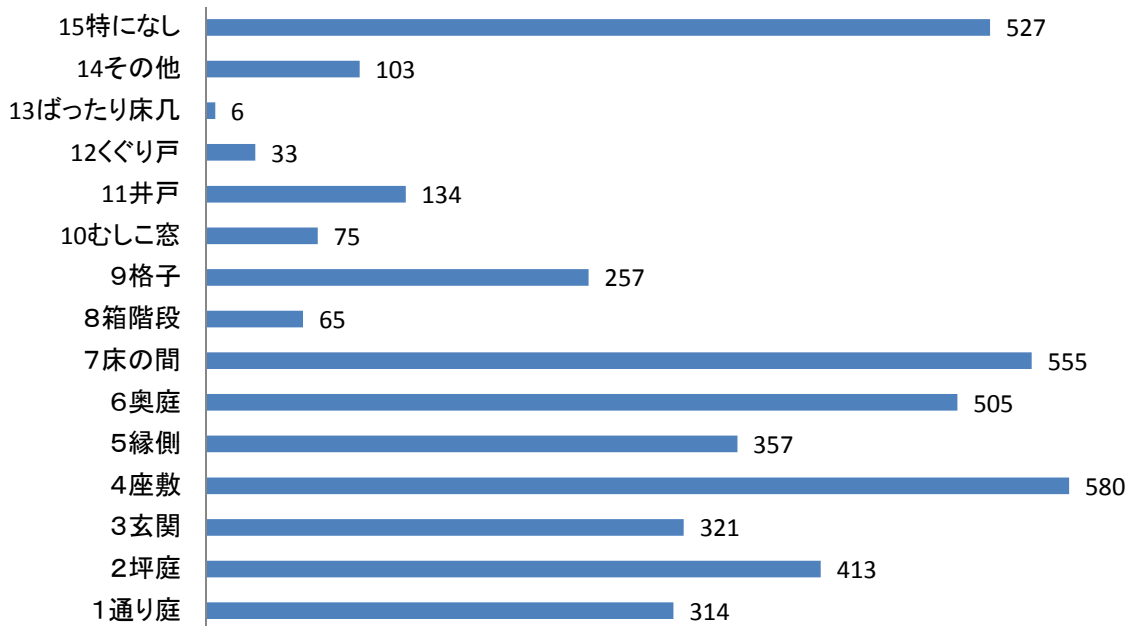


■Q13大切なところ、気に入ってるところ(複数回答)

1、通り庭	314	14.2%
2、坪庭	413	18.7%
3、玄関	321	14.5%
4、座敷	580	26.3%
5、縁側	357	16.2%
6、奥庭	505	22.9%
7、床の間	555	25.1%
8、箱階段	65	2.9%

9、格子	257	11.6%
10、むしこ窓	75	3.4%
11、井戸	134	6.1%
12、くぐり戸	33	1.5%
13、ぼったり床机	6	0.3%
14、その他	103	4.7%
15、特になし	527	23.9%

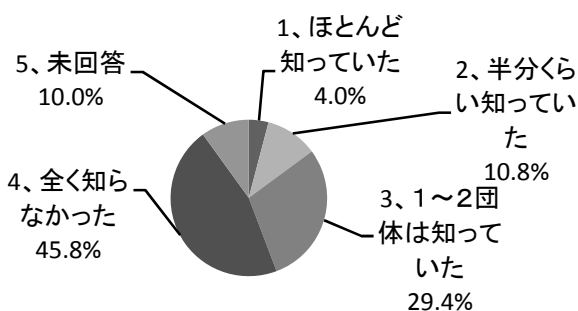
*回答数(2,207)からみた割合



居住スペースである、「座敷」や「床の間」が多い。また、「奥庭」や「坪庭」の回答も多く、町家の中での緑の空間が大切にされていることがうかがえる。

■Q14町家市民団体、職能団体について

1、ほとんど知っていた	89	4.0%
2、半分くらい知っていた	239	10.8%
3、1~2団体は知っていた	649	29.4%
4、全く知らなかった	1,010	45.8%
5、未回答	220	10.0%
計	2,207	100.0%



・西陣エリア

1、ほとんど知っていた	74	4.6%
2、半分くらい知っていた	192	11.9%
3、1~2団体は知っていた	481	29.9%
4、全く知らなかった	694	43.2%
5、未回答	167	10.4%
計	1,608	100.0%

・伏見エリア

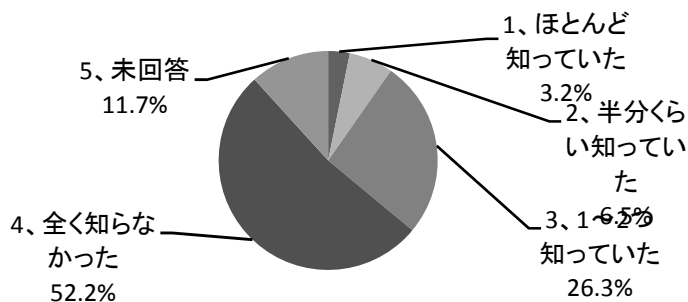
1、ほとんど知っていた	15	2.5%
2、半分くらい知っていた	47	7.9%
3、1~2団体は知っていた	166	27.9%
4、全く知らなかった	314	52.8%
5、未回答	53	8.9%
計	595	100.0%

* 市民団体、職能団体とは、アンケートと一緒に配布したリーフレット「京都の町家に関わる市民団体・職能団体」13団体を指している。

「全く知らなかった」が45.8%と、約半数の方が市民・職能団体について知らなかった。伏見エリアの方が西陣エリアよりも「全く知らない」が約10%と高くなっている。

■Q15公的支援について

1、ほとんど知っていた	70	3.2%
2、半分くらい知っていた	144	6.5%
3、1～2つ知っていた	581	26.3%
4、全く知らなかった	1,153	52.2%
5、未回答	259	11.7%
計	2,207	100.0%



・西陣エリア

1、ほとんど知っていた	64	4.0%
2、半分くらい知っていた	121	7.5%
3、1～2つ知っていた	429	26.7%
4、全く知らなかった	807	50.2%
5、未回答	187	11.6%
計	1,608	100.0%

・伏見エリア

1、ほとんど知っていた	6	1.0%
2、半分くらい知っていた	23	3.9%
3、1～2つ知っていた	150	25.2%
4、全く知らなかった	344	57.8%
5、未回答	72	12.1%
計	595	100.0%

* 公的支援とは、アンケートと一緒に配布したリーフレット「歴史の詰まった我が家を残したい！その思いをお手伝い～公的支援のご紹介～」の支援を指している。

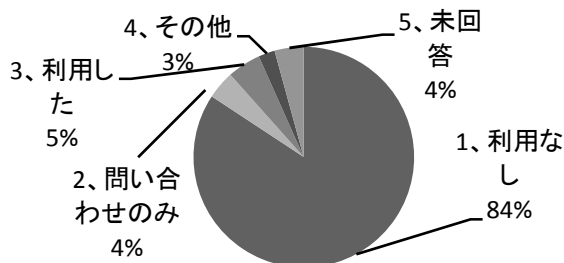
「全く知らなかった」が52.2%と過半数であり、公的支援の効果的な広報手段を検討していくことが求められる。

■Q15-A公的支援利用状況

【Q15で「ほとんど知っていた」「半分くらい知っていた」「1～2つ知っていた」を回答された方対象】

1、利用したことがない	670	84.3%
2、問い合わせのみ	33	4.2%
3、利用した	39	4.9%
4、その他	19	2.4%
5、未回答	34	4.3%
計	795	100.0%

*うち2件は学区不明



・西陣エリア

1、利用したことがない	515	83.9%
2、問い合わせのみ	25	4.1%
3、利用した	33	5.4%
4、その他	16	2.6%
5、未回答	25	4.1%
計	614	100.0%

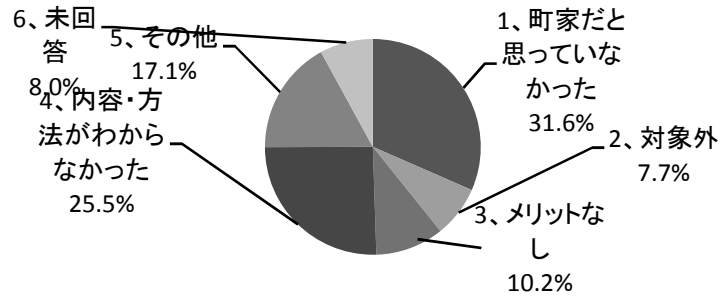
・伏見エリア

1、利用したことがない	153	85.5%
2、問い合わせのみ	8	4.5%
3、利用した	6	3.4%
4、その他	3	1.7%
5、未回答	9	5.0%
計	179	100.0%

公的支援を知っていた方のうち、「利用したことがない」が84.3%、「利用した」が4.9%である。より多くの方に支援内容を知ってもらうことが求められる。

■ Q15-B 公的支援を利用しない理由
【Q15-Aで「利用したことがない」「問い合わせのみ」を回答された方対象】

1、町家と聞いていなかった	222	31.6%
2、対象外である	54	7.7%
3、メリットがない	72	10.2%
4、内容・方法がわからない	179	25.5%
5、その他	120	17.1%
6、未回答	56	8.0%
計	703	100.0%



・西陣エリア

1、町家と聞いていなかった	151	27.9%
2、対象外である	45	8.3%
3、メリットがない	60	11.1%
4、内容・方法がわからない	149	27.5%
5、その他	96	17.7%
6、未回答	41	7.6%
計	542	100.0%

・伏見エリア

1、町家と聞いていなかった	71	44.1%
2、対象外である	9	5.6%
3、メリットがない	12	7.5%
4、内容・方法がわからない	30	18.6%
5、その他	24	14.9%
6、未回答	15	9.3%
計	161	100.0%

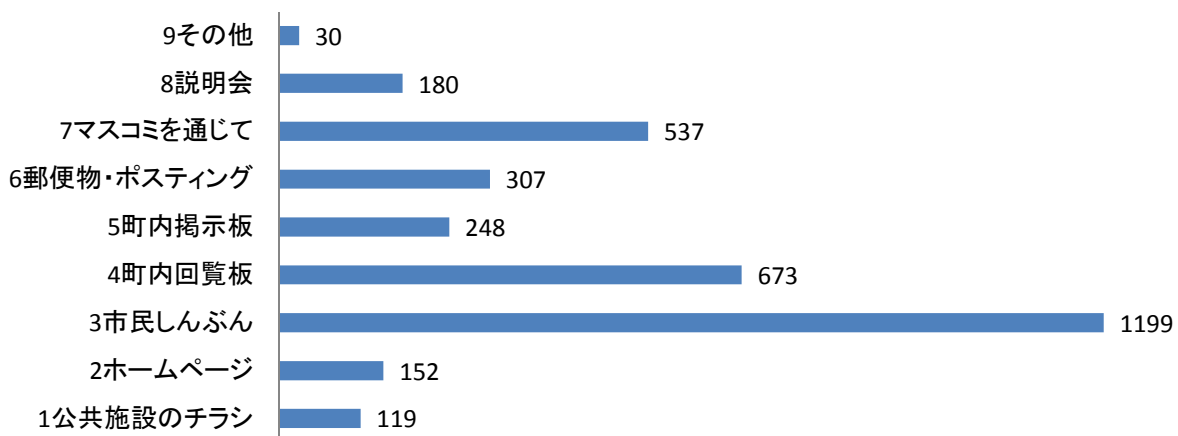
Q15-Aで、「問い合わせのみ」、「利用したことがない」との回答のうち、利用しない理由として「町家と聞いていなかった」が31.6%と最も多く、次いで「内容・方法がわからなかった」が25.5%である。

■ Q16 効果的な広報手段(複数回答)

1、公共施設のチラシ	119	5.4%
2、ホームページ	152	6.9%
3、市民しんぶん	1199	54.3%
4、町内回覧板	673	30.5%
5、町内掲示板	248	11.2%
6、郵便物・ポスティング	307	13.9%
7、マスコミ	537	24.3%
8、その他	180	8.2%
9、説明会	30	1.4%

効果的な広報手段としては、「市民しんぶん」が54.3%、「町内回覧板」が30.5%である。次いで、「マスコミを通じて」が24.3%である。

*回答数(2,207)からみた割合



■Q17-1性別

1、男性	1,382	62.6%
2、女性	741	33.6%
3、未回答	84	3.8%
計	2,207	100.0%

男性の方が62.6%と多い。

・西陣エリア

1、男性	1,008	62.7%
2、女性	539	33.5%
3、未回答	61	3.8%
計	1,608	100.0%

・伏見エリア

1、男性	371	62.4%
2、女性	201	33.8%
3、未回答	23	3.9%
計	595	100.0%

■Q17-2年代

1、30歳未満	29	1.3%
2、30代	96	4.3%
3、40代	118	5.3%
4、50代	307	13.9%
5、60代	618	28.0%
6、70代以上	949	43.0%
7、未回答	90	4.1%
計	2,207	100.0%

「70代以上」が43.0%と最も多く、アンケート回答者は高齢の方が多い。

・西陣エリア

1、30歳未満	24	1.5%
2、30代	77	4.8%
3、40代	93	5.8%
4、50代	229	14.2%
5、60代	421	26.2%
6、70代以上	699	43.5%
7、未回答	65	4.0%
計	1,608	100.0%

・伏見エリア

1、30歳未満	5	0.8%
2、30代	18	3.0%
3、40代	25	4.2%
4、50代	77	12.9%
5、60代	196	32.9%
6、70代以上	249	41.8%
7、未回答	25	4.2%
計	595	100.0%

■Q17-3職業

1、自営業	646	29.3%
2、会社員	284	12.9%
3、公務員	36	1.6%
4、学生	4	0.2%
5、無職	963	43.6%
6、その他	190	8.6%
7.未回答	84	3.8%
計	2,207	100.0%

「無職」が43.6%と最も多く、次いで「自営業」が29.3%と多い。

・西陣エリア

1、自営業	505	31.4%
2、会社員	220	13.7%
3、公務員	26	1.6%
4、学生	4	0.2%
5、無職	671	41.7%
6、その他	125	7.8%
7.未回答	57	3.5%
計	1,608	100.0%

・伏見エリア

1、自営業	139	23.4%
2、会社員	63	10.6%
3、公務員	10	1.7%
4、学生	0	0.0%
5、無職	292	49.1%
6、その他	64	10.8%
7.未回答	27	4.5%
計	595	100.0%

■Q17-4家族構成

1、単身	455	20.6%
2、夫婦のみ	673	30.5%
3、親と子	691	31.3%
4、3世代	125	5.7%
5、兄弟姉妹など	52	2.4%
6、その他	91	4.1%
7、未回答	120	5.4%
計	2,207	100.0%

・西陣エリア

1、単身	345	21.5%
2、夫婦のみ	493	30.7%
3、親と子	501	31.2%
4、3世代	76	4.7%
5、兄弟姉妹など	33	2.1%
6、その他	72	4.5%
7、未回答	88	5.5%
計	1,608	100.0%

・伏見エリア

1、単身	109	18.3%
2、夫婦のみ	179	30.1%
3、親と子	189	31.8%
4、3世代	49	8.2%
5、兄弟姉妹など	19	3.2%
6、その他	19	3.2%
7、未回答	31	5.2%
計	595	100.0%

■Q17-5居住人数

1、1人	459	20.8%
2、2人	845	38.3%
3、3人	391	17.7%
4、4人	190	8.6%
5、5人	111	5.0%
6、6人以上	72	3.3%
7、未回答	139	6.3%
計	2,207	100.0%

Q17-4、5から、町家居住者は「少人数世帯」が多い。

・西陣エリア

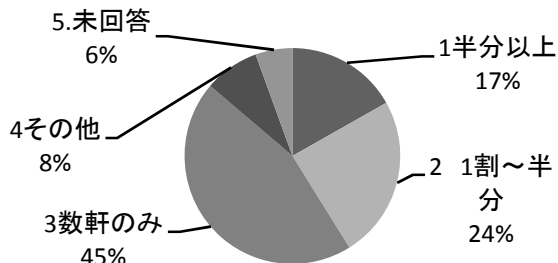
1、1人	349	21.7%
2、2人	611	38.0%
3、3人	274	17.0%
4、4人	144	9.0%
5、5人	79	4.9%
6、6人以上	47	2.9%
7、未回答	104	6.5%
計	1,608	100.0%

・伏見エリア

1、1人	109	18.3%
2、2人	233	39.2%
3、3人	117	19.7%
4、4人	46	7.7%
5、5人	31	5.2%
6、6人以上	24	4.0%
7、未回答	35	5.9%
計	595	100.0%

■Q18通りの町家残存状況

1、半分以上	371	16.8%
2、1割～半分	537	24.3%
3、数軒のみ	995	45.1%
4、その他	182	8.2%
5、未回答	122	5.5%
計	2,207	100.0%



・西陣エリア

1、半分以上	299	18.6%
2、1割～半分	403	25.1%
3、数軒のみ	719	44.7%
4、その他	106	6.6%
5、未回答	81	5.0%
計	1,608	100.0%

・伏見エリア

1、半分以上	72	12.1%
2、1割～半分	132	22.2%
3、数軒のみ	274	46.1%
4、その他	76	12.8%
5、未回答	41	6.9%
計	595	100.0%

「数軒のみ」と認識している方が45.1%と約半数である。

(2) アンケート分析

【年代別傾向】

■ 建物認識と年代との関係 (Q17-2 × Q6)

	町家	町家風建物	普通木造	その他	未回答	計
30代未満	12 41.4%	7 24.1%	9 31.0%	1 3.4%	0 0.0%	29 100.0%
30代～	38 39.6%	19 19.8%	33 34.4%	6 6.3%	0 0.0%	96 100.0%
40代～	45 38.1%	23 19.5%	43 36.4%	7 5.9%	0 0.0%	118 100.0%
50代～	97 31.6%	60 19.5%	134 43.6%	13 4.2%	3 1.0%	307 100.0%
60代～	153 24.8%	128 20.7%	309 50.0%	17 2.8%	11 1.8%	618 100.0%
70代～	258 27.2%	160 16.9%	488 51.4%	25 2.6%	18 1.9%	949 100.0%
未回答	23 25.6%	13 14.4%	41 45.6%	4 4.4%	9 10.0%	90 100.0%

若い世代ほど「町家」と認識している割合が高く、高齢の世代ほど「普通の木造」と認識している割合が高い。

■ 住替希望と年代との関係 (Q17-2 × Q7)

	町家	町家以外の戸建	マンション・ビル	その他	未回答	計
30代未満	13 44.8%	9 31.0%	2 6.9%	5 17.2%	0 0.0%	29 100.0%
30代～	38 39.6%	28 29.2%	9 9.4%	18 18.8%	3 3.1%	96 100.0%
40代～	47 39.8%	44 37.3%	9 7.6%	14 11.9%	4 3.4%	118 100.0%
50代～	90 29.3%	148 48.2%	26 8.5%	25 8.1%	18 5.9%	307 100.0%
60代～	173 28.0%	287 46.4%	57 9.2%	39 6.3%	62 10.0%	618 100.0%
70代～	230 24.2%	377 39.7%	68 7.2%	126 13.3%	148 15.6%	949 100.0%
未回答	23 24.4%	22 24.4%	9 10.0%	14 15.6%	23 25.6%	90 100.0%

若い世代ほど「町家」への住替希望が高い反面、50代を中心に、「町家以外の戸建」への住替希望が高くなっている。

■住まいの構成(Q17-2×Q17-4)

	単身	夫婦	親と子	3世代	兄弟姉妹	その他	未回答	計
30代未満	9 31.0%	5 17.2%	6 20.7%	0 0.0%	1 3.4%	5 17.2%	3 10.3%	29 100.0%
30代～	19 19.8%	17 17.7%	40 41.7%	3 3.1%	3 3.1%	11 11.5%	3 3.1%	96 100.0%
40代～	19 16.1%	9 7.6%	64 54.2%	14 11.9%	2 1.7%	8 6.8%	2 1.7%	118 100.0%
50代～	49 16.0%	59 19.2%	138 45.0%	33 10.7%	7 2.3%	9 2.9%	12 3.9%	307 100.0%
60代～	106 17.2%	187 30.3%	226 36.6%	37 6.0%	18 2.9%	31 5.0%	13 2.1%	618 100.0%
70代～	248 26.1%	387 40.8%	212 22.3%	37 3.9%	21 2.2%	26 2.7%	18 1.9%	949 100.0%
未回答	5 5.6%	9 10.0%	5 5.6%	1 1.1%	0 0.0%	1 1.1%	69 76.7%	90 100.0%

40代、50代の「親と子」が多くみられるが、高齢の「単身」や「夫婦のみ」も多い。
60代では、「単身」と「夫婦のみ」で約5割、70代では「単身」と「夫婦のみ」で約7割にのぼる。

【敷地規模別傾向】

■建物利用と敷地規模との関係(Q2×Q1)

建物利用	15坪未満	～25坪	～45坪	～70坪	70坪以上	不明	未回答	計
住居専用	214 14.2%	452 30.0%	395 26.2%	191 12.7%	209 13.9%	32 2.1%	16 1.1%	1,509 100.0%
職住兼用	35 6.7%	130 24.8%	164 31.2%	96 18.3%	92 17.5%	5 1.0%	3 0.6%	525 100.0%
事業専用	24 22.2%	28 25.9%	24 22.2%	18 16.7%	13 12.0%	1 0.9%	0 0.0%	108 100.0%
その他	1 2.4%	12 28.6%	16 38.1%	5 11.9%	6 14.3%	2 4.8%	0 0.0%	42 100.0%
未回答	0 0.0%	5 21.7%	4 17.4%	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	13 56.5%	23 100.0%

住居専用の利用は、敷地15坪以上25坪までが30.0%と多い。職住兼用の利用は、敷地25坪以上45坪までが31.2%と多い。

■町家の将来利用と敷地規模との関係(Q2×Q11)

建物利用	残したい	土地活用	売却	考えなし	その他	計
15坪未満	29 24.8%	5 4.3%	8 6.8%	73 62.4%	2 1.7%	117 100.0%
～25坪	109 32.7%	23 6.9%	20 6.0%	176 52.9%	5 1.5%	333 100.0%
～45坪	170 43.0%	39 9.9%	25 6.3%	153 38.7%	8 2.0%	395 100.0%
～70坪	124 53.4%	25 10.8%	11 4.7%	69 29.7%	3 1.3%	232 100.0%
70坪以上	155 57.0%	24 8.8%	17 6.3%	71 26.1%	5 1.8%	272 100.0%
不明	6 60.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	2 20.0%	10 100.0%
未回答	6 50.0%	1 8.3%	1 8.3%	4 33.3%	0 0.0%	12 100.0%

敷地15坪未満で「残したい」が24.8%、「考えなし」が62.4%であり、敷地70坪以上で「残したい」が57.0%、「考えなし」が26.1%と、敷地が大きくなるにつれて残したいという意向が高く、将来の利用についても考えられている。

■町家を残していく上での問題点(複数回答)と敷地規模との関係(Q2×Q11-A)

建物利用	相続税	財産分与	維持・修繕費	安心して買せる相手	その他	問題点なし
15坪未満 (回答数:29)	9 31.0%	5 17.2%	22 75.9%	3 10.3%	1 3.4%	2 6.9%
～25坪 (回答数:109)	22 20.2%	22 20.2%	72 66.1%	13 11.9%	5 4.6%	20 18.3%
～45坪 (回答数:170)	50 29.4%	52 30.6%	124 72.9%	20 11.8%	3 1.8%	22 12.9%
～70坪 (回答数:124)	54 43.5%	43 34.7%	95 76.6%	12 9.7%	6 4.8%	6 4.8%
70坪以上 (回答数:155)	87 56.1%	61 39.4%	124 80.0%	13 8.4%	1 0.6%	10 6.5%
不明 (回答数:6)	3 50.0%	4 66.7%	5 83.3%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%
未回答 (回答数:6)	5 83.3%	4 66.7%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

* 町家を所有していて残したいと回答した方(Q11で1を回答)の敷地規模別回答数からみた割合

敷地規模が大きくなるほど、相続に関わる課題が町家を残そうとする場合の問題になることがわかる。

■町家を残していく上での理想的な活用方法(複数回答)と敷地規模との関係(Q2×Q11-B)

建物利用	住まい専用	企業事務所	商業施設	宿泊施設	大学施設	下宿	地域交流の場	なんでもよい	その他
15坪未満 (回答数:29)	24 82.8%	2 6.9%	3 10.3%	1 3.4%	0 0.0%	1 3.4%	3 10.3%	2 6.9%	2 6.9%
～25坪 (回答数:109)	85 78.0%	6 5.5%	14 12.8%	2 1.8%	3 2.8%	1 0.9%	12 11.0%	13 11.9%	7 6.4%
～45坪 (回答数:170)	127 74.7%	11 6.5%	24 14.1%	15 8.8%	8 4.7%	6 3.5%	21 12.4%	17 10.0%	4 2.4%
～70坪 (回答数:124)	100 80.6%	14 11.3%	18 14.5%	5 4.0%	10 8.1%	9 7.3%	21 16.9%	19 15.3%	1 0.8%
70坪以上 (回答数:155)	117 75.5%	14 9.0%	26 16.8%	10 6.5%	7 4.5%	7 4.5%	23 14.8%	19 12.3%	5 3.2%
不明 (回答数:6)	4 66.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%
未回答 (回答数:6)	5 83.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%

* 町家を所有していて残したいと回答した方(Q11で1を回答)の敷地規模別回答数からみた割合

45坪以上を超え、敷地規模の大きくなると、「地域交流」や「大学施設」と公共的な活用を望む回答が相当数みられる。

【将来の利用傾向】

■利用方法別(Q11×Q1)

利用方法↓	残したい	土地活用	売却	考えなし	その他	計
住居専用	399 43.2%	59 6.4%	66 7.1%	379 41.0%	21 2.3%	924 100.0%
職住兼用	156 45.5%	39 11.4%	11 3.2%	134 39.1%	3 0.9%	343 100.0%
事業用	31 50.0%	8 12.9%	3 4.8%	19 30.6%	1 1.6%	62 100.0%
その他	10 32.3%	8 25.8%	2 6.5%	11 35.5%	0 0.0%	31 100.0%
未回答	3 27.3%	3 27.3%	1 9.1%	4 36.4%	0 0.0%	11 100.0%

「住居専用」の方が、「職住兼用」や「事業用」よりも「売却」意向や「考えなし」が若干高く、「残したい」という意向が若干低い。

■建物の認識別(Q11×Q6)

建物認識↓	残したい	土地活用	売却	考えなし	その他	計
町家	270 60.4%	30 6.7%	24 5.4%	119 26.6%	4 0.9%	447 100.0%
町家風建築	142 49.7%	28 9.8%	20 7.0%	92 32.2%	4 1.4%	286 100.0%
普通の木造住宅	158 27.6%	54 9.4%	38 6.6%	310 54.1%	13 2.3%	573 100.0%
その他	16 39.0%	4 9.8%	0 0.0%	18 43.9%	3 7.3%	41 100.0%
未回答	13 54.2%	1 4.2%	1 4.2%	8 33.3%	1 4.2%	24 100.0%

「町家」と認識してる方では、「残したい」という意向が過半数である。一方、「普通の木造住宅」と認識している方では、「考えなし」が過半数である。

■建物の形態別(Q11×Q3)

建物形態↓	残したい	土地活用	売却	考えなし	その他	計
戸建て	498 48.2%	91 8.8%	53 5.1%	376 36.4%	16 1.5%	1,034 100.0%
長屋建て	89 28.5%	25 8.0%	28 9.0%	162 51.9%	8 2.6%	312 100.0%
その他	8 57.1%	1 7.1%	0 0.0%	4 28.6%	1 7.1%	14 100.0%
未回答	4 36.4%	0 0.0%	2 18.2%	5 45.5%	0 0.0%	11 100.0%

「戸建て」での「残したい」という意向は「長屋建て」と比較して約20%も高い。

「京町家まちづくり調査」の ご理解とご協力をお願い

平素は京都市及び(財)京都市景観・まちづくりセンターの取組にご支援・ご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

町家(昭和25年以前に伝統軸組構法で建築された木造家屋)は、生業と暮らしを支え、様々な文化を継承してきた京都の財産です。

京都市では、京町家の保全・再生を新景観政策の一つの柱とするとともに、(財)京都市景観・まちづくりセンターでは、町家の保全・再生を推進するための基金「京町家まちづくりファンド」の創設・運用や「京町家なんでも相談」の実施など、様々な取組を展開しております。

この度、5年ぶりに、戦前に市街化されていた市域において「京町家まちづくり調査」を実施することになりました。

「まちづくり調査員」の腕章をした調査員(専門家を含む市民ボランティアの方及び事務局メンバー)が伝統的要素の保存状態を確認するための外観写真撮影、チェックシートへの記入、及びアンケート調査票や町家に関する情報を掲載したリーフレットの投函をさせていただきます。

地域の皆様には今回の調査のご理解とご協力をお願いいたします。

京都市、財団法人京都市景観・まちづくりセンター

アンケートご協力をお願い

皆様には、ご多忙の所お手数をおかけしますが、本アンケートの回答にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。この結果は京町家の保全・再生・活用を推進するために活用していきますので、一つでも多くの声をお聞かせください。

この建物にお住まいの方又はこの建物で事業主の方にご記入をお願いいたします。

同封いたしましたリーフレットをご覧ください。

リーフレットには、町家に関する様々な情報を記載しておりますのでご活用ください。ご記入いただいた後は、お手数ですが、アンケートが投函されてから2週間以内に、同封の返信用封筒にお入れいただき、お近くの郵便ポストにご投函くださいますようお願いいたします。

ご回答内容につきましては、学区(元学区)別に集計・分析致します。
統計的に処理いたしますので、個人情報に関し、皆様方にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

アンケートのご記入のお手伝いのために、(財)京都市景観・まちづくりセンターの職員がお宅にうかがうこともできますので、お気軽にご連絡ください。

アンケートや本調査に関するお問い合わせは、
(財)京都市景観・まちづくりセンター(最終面参照)までご連絡ください。

Q1. この建物の利用について、該当するもの一つに をしてください。

1. 住まいとしてのみ利用している
2. 住まいながら事業をする場所として利用している
3. 事業の場所としてのみ利用している
4. その他()

Q2. この建物の敷地の広さについて、該当するもの一つに をしてください。

1. 約15坪(約50㎡)未満
2. 約15~25坪(約50~80㎡)
3. 約25~45坪(約80~160㎡)
4. 約45~70坪(約160~230㎡)
5. 約70坪(約230㎡)以上
6. 不明

Q3. この建物の形態について、該当するもの一つに をしてください。

1. 戸建て
2. 長屋建て () 軒長屋(数をご記入ください)
3. その他()

Q4. この建物が建てられた時期について、該当するもの一つに をしてください。

- | | | |
|-------------------------|-----------------|------------------|
| 1. 江戸時代 | 2. 明治前期(1~25年頃) | 3. 明治後期(26~45年頃) |
| 4. 大正時代 | 5. 昭和終戦前(1~20年) | 6. 終戦後 |
| 7. よくわからないが約()年前と聞いている | 8. 不明 | |

Q5. この建物を利用し続けるために、最近10年間に行った工夫や改修はありますか。
該当するものすべてに をつけてください。

1. 浴室・トイレ・洗面・台所の設備の改修
2. 通り庭の床(土間)を上げる改修
3. 冷暖房設備(エアコン・床暖房等)の設置や更新
4. 窓や玄関の扉の改修
5. 屋根や外壁の修繕
6. 部屋の間取りや室内仕上げの変更
7. その他()
8. 特に行っていない

Q6. あなたは、この建物をどのような建物だとお考えでしたか。該当するもの一つに をしてください。

1. 町家
2. 町家風建築物
3. 普通の木造住宅
4. その他()

京都市や(財)京都市景観・まちづくりセンターでは、
昭和25年以前に伝統軸組構法で建築された木造家屋を「町家」として、
様々な取組を行っています。

Q7. 今後、家族構成や事業の変化、または賃貸借の期限が切れる際等に、もし、住み替えや事業所の移転を考えるならば、どのような建物を希望しますか。該当するもの一つに をしてください。

1. 町家(戦前に伝統軸組構法で建築された木造家屋)
2. 町家ではない戸建の建物
3. マンションやビル
4. その他()

Q8. あなたはこの建物のどういうところに魅力を感じますか。それぞれの項目ごと一つに をつけてください。

	大いに感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない
1. 伝統や歴史性					
2. 京都らしい風情					
3. 季節の移り変わりを感じられること					
4. 室内のしつらえを変える楽しみがあること					
5. 冠婚葬祭などの行事が自宅でできること					
6. 木・土などの自然素材の感触					
7. 坪庭・庭などから自然を感じる場所					
8. 障子やふすまを開け放つと広々とする場所					
9. エコロジーに貢献している場所					
10. 洗練された美しさ					
11. 京都のまちなみ景観に貢献している場所					
12. 商業利用の際の集客力					
13. その他()					

Q9. この敷地と建物の所有関係について、該当するもの一つに をしてください。

Q9-1. 敷地について

1. 自分が所有している
2. 同居している家族が所有している
3. 借りている
4. その他()

Q9-2. 建物について

1. 自分が所有している
2. 同居している家族が所有している
3. 借りている
4. その他()

Q10. あなた(同居している家族を含む)は、この建物以外に町家をお持ちですか。該当するもの一つに をしてください。

1. 所有している → Q10-A へ
2. 所有していない
3. その他()

Q10で1に をつけた方におうかがいします。

Q10-A. 所有されている建物の活用状況と軒数をお教えてください。

- | | |
|----------------------------|-------|
| 1. 自分や家族・親類が住まいとして利用している | () 軒 |
| 2. 自分や家族・親類が事業の場として利用している | () 軒 |
| 3. 自分や家族・親類が倉庫や物置として使用している | () 軒 |
| 4. 人に貸している | () 軒 |
| 5. 空家である | () 軒 |
| 6. その他 () | () 軒 |

Q10-Aで5に をつけた方におうかがいします。

Q10-B. 空家である理由は何ですか？もっとも当てはまるもの2つまでに をしてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 将来、その町家を家族や親族が利用する可能性があるから |
| 2. 買い手を探しているが、見つからないから |
| 3. 借り手を探しているが、見つからないから |
| 4. 利用したり、貸したりするためには改修費がかかるから |
| 5. 人に貸すことに不安があるから |
| 6. 建物の解体費がかかるから |
| 7. 建物は解体する予定であるから |
| 8. 特に理由はない |
| 9. その他 () |

Q11は町家を所有されている方におうかがいします。

Q11. 所有されている町家の将来についてどのようにお考えですか。

自分や家族がこの建物を利用しなくなった場合、または、現在の借家契約が切れた場合を想定して、今のお気持ちに一番近いもの一つに をしてください。

- | |
|---|
| 1. 所有している町家をできる限り残したい(家族等が残していったほしい) |
| 2. 所有している町家を解体し、土地の活用(駐車場利用・別建物を建設等)を考えたい |
| 3. 所有している町家(敷地も含む)を売却する |
| 4. 現在のところ、考えはない |
| 5. その他 () |

Q11で1と答えた方におうかがいします。

Q11-A. 所有されている町家を残していく上での問題点は考えられますか。考えられるものすべてに をしてください。

- | |
|--------------------------|
| 1. 相続税で負担をかけること |
| 2. 相続時の財産分与 |
| 3. 建物の維持・修繕費の負担 |
| 4. 安心して建物を貸せる相手を探すことの困難さ |
| 5. その他 () |
| 6. 問題点は特にない |

Q11-B. 所有されている町家を残していくための活用方法(賃貸利用方法)として、理想的だと思われるものすべてに をしてください。

- | |
|--------------------------|
| 1. 住まい専用としての利用 |
| 2. 企業の事務所としての利用 |
| 3. 商業施設としての利用 |
| 4. 宿泊施設としての利用 |
| 5. 構外教室等大学の施設としての利用 |
| 6. 学生や若年層の下宿としての利用 |
| 7. 地域の人の交流の場としての利用 |
| 8. 安心して貸せる先ならどんな利用方法でもいい |
| 9. その他() |

借地借家法が改正され、平成12年3月から定期借家契約(更新されることなく、契約で定められた期間で借家契約が終了する契約)が締結できるようになりました。

Q11-C. 所有されている町家を残していくために賃貸活用する場合、賃貸の期間はどれくらいが適切だと思われますか。該当するもの一つに をしてください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 1年以内 | 2. 2~3年 |
| 3. 4~5年 | 4. 6~10年 |
| 5. 11~15年 | 6. 16~20年 |
| 7. 21年以上 | 8. その他() |
| 9. わからない | |

Q11-D. 所有されている町家を保全・活用するために、以下のような取組があったとしたら、あなたは利用したいですか。それぞれの項目ごと一つに をしてください。

	利用したい	どちらかという利用	どちらとも言えない	どちらかという利用	利用したくない
1. 信用できる機関(公的機関等)が町家活用の相談や借家人の斡旋をしてくれる					
2. 信用できる機関(公的機関等)が期限付で借り上げ、その間安定した賃料を得ることができる					
3. 信用できる機関(公的機関等)が町家を買って上げる					
4. その他()					

再び、町家を利用されている皆さん全員に、おうかがいします。

Q12. 下記のなかで、この建物にあるものすべてに をつけてください。

- | | | |
|--------------------|----------------|------------|
| 1. 通り庭(土間・天井吹抜け部分) | 2. 坪庭 | 3. 座敷 |
| 4. 縁側 | 5. 奥庭 | 6. 床の間 |
| 7. 箱階段 | 8. 格子 | 9. むしこ窓 |
| 10. 井戸 | 11. 玄関大戸(くぐり戸) | 12. ぱったり床几 |

Q13. この建物の中で、特に大切にしているところや、気に入っているところはどこですか。

該当するものすべてに をつけてください。

1. 通り庭	2. 坪庭	3. 玄関	4. 座敷
5. 縁側	6. 奥庭	7. 床の間	8. 箱階段
9. 格子	10. むしこ窓	11. 井戸	12. くぐり戸
13. ぱったり床几	14. その他()	15. 特になし	

Q13-A. それはなぜですか。自由にお書き下さい。

アンケートとともに同封いたしましたリーフレットを見てお答えください。

町家に関する様々な支援の認知度についておうかがいします。

Q14. 町家に対する様々な市民の活動について

リーフレット「京都の町家に関わる市民団体・職能団体」のうち、どれくらいご存じでしたか。

該当するもの一つに をしてください。

1. ほとんど知っていた

2. 半分くらい知っていた

3. 1～2団体は知っていた

4. 全く知らなかった

Q15. 町家に対する様々な公的支援について

リーフレット「歴史の詰まった我が家を残したい！その思いをお手伝い～公的な支援のご紹介～」のうち、どれくらいご存じでしたか。該当するもの一つに をしてください。

1. ほとんど知っていた

2. 半分くらい知っていた

3. 1～2つの支援は知っていた

4. 全く知らなかった

Q15で1～3に をつけた方におうかがいします。

Q15-A. 知っていた公的支援に対し、問い合わせや利用をしたことがありますか。

該当するもの一つに をしてください。

1. 利用したことがない

2. 問い合わせをしたが、利用しなかった

3. 利用した

4. その他()

Q15-Aで1～2に をつけた方におうかがいします。

Q15-B. それはなぜですか。該当するもの一つに をしてください。

1. 自分の家が町家だと思っていなかったから

2. 自分の町家が対象外だということがわかったから

3. 利用するメリットがないことがわかったから

4. 支援の内容や利用方法がよくわからなかったから

5. その他()

Q16. Q14,15 で挙げている市民団体・職能団体などの活発な活動や行政の支援制度は、どのような手段で市民のみなさんにお知らせするのが効果的と思われますか。

効果的と思われるもの2つまでに をしてください。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 区役所等公共施設に設置してあるチラシ |
| 2. 京都市や(財)京都市景観・まちづくりセンターのホームページ |
| 3. 市民しんぶん |
| 4. 町内での回覧版 |
| 5. 町内の掲示板・ポスター |
| 6. 郵送物・ポストイング(ポストに直接入れられるチラシ) |
| 7. マスコミ(一般新聞・ラジオ・テレビ等)を通じた紹介 |
| 8. 身近なところでの説明会の開催 |
| 9. その他() |

Q17. あなたご自身のこと、この建物に一緒にお住まいの方についておうかがいします。

Q17-1. あなたの性別

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

Q17-2. あなたの年齢

(歳)

Q17-3. あなたのご職業

- | | | | |
|---------|-----------|--------|-------|
| 1. 自営業者 | 2. 会社員 | 3. 公務員 | 4. 学生 |
| 5. 無職 | 6. その他() | | |

Q17-4. 現在お住まいの方の構成

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 単身 | 2. 夫婦のみ |
| 3. 親と子(親族の同居を含む) | 4. 3世代(親族の同居を含む) |
| 5. 兄弟姉妹など親族世帯のみ | 6. その他() |

Q17-5. 現在お住まいの方(ご自分を含めて)の人数

- | | | | |
|-------|---------|-------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人 | 6. 6人以上 | | |

Q18. 建物が建っている通り(町内くらいの単位)の環境について、該当するもの一つに をしてください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 通りの半分以上、町家が残っている |
| 2. 通りの1割~半分くらいの町家が残っている |
| 3. 通りに数軒しか町家が残っていない |
| 4. その他() |

Q19. 町家の保全・再生に関して、自由なご意見をお聞かせください。

お悩みやご相談があり、センターからの連絡をご希望される方は、余白部分にお名前と電話番号をご記入くだされば、こちらからご連絡させていただきます。
なお、いただいた個人情報は、他の目的のために利用することは一切ございません。

アンケートは以上です。長時間のご協力、誠にありがとうございました。

返送用封筒でご返送ください。

同封リーフレットの町家に関する様々な情報を

是非、ご活用ください。

京町家に関して少しでもお悩みやご相談があれば、

お気軽にご連絡ください。



財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地の 1

『ひと・まち交流館 京都』地下 1 階

【開館時間】月～土：午前 9 時～午後 9 時 30 分

日・祝：午前 9 時～午後 5 時

(ただし、毎月第 3 火曜日及び年末年始は閉館日)

TEL 075-354-8701